

愛知県にある両社製油所間での水素回収・燃料連携事業の実施について

株式会社ジャパンエナジー（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：松下功夫，以下「Jエナジー」）と出光興産株式会社（本社：東京都千代田区丸の内三丁目，社長：天坊昭彦，以下「出光興産」）は，愛知県にある両社製油所間での水素や燃料の有効活用による連携強化策について，石油コンビナート高度統合運営技術研究組合（以下「RING」）が公募した「平成21年度 コンビナート連携石油安定供給対策事業」に応募し，このたび補助金交付対象事業として下記のとおり選定されました。

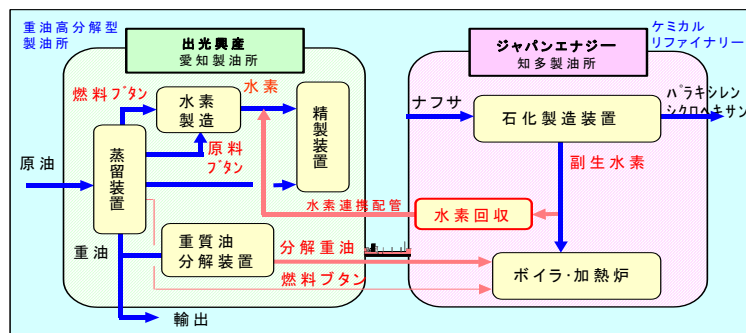
記

1. 背景

コンビナート連携により，石油精製業を中心とするコンビナート域内外の連携設備の効果的設置による拡大融合を促進して製油所の競争力を強化するとともに，石油資源の有効活用を図り原油処理量を減らすことを通じ，エネルギーセキュリティを確保することが重要な課題になっております。このため，経済産業省からの補助金に係る「平成21年度 コンビナート連携石油安定供給対策事業」の公募が，RINGでなされました。

2. 事業概要

- (1) 事業名称：コンビナート水素回収・燃料連携事業
- (2) 事業期間：2009～2010年度
- (3) 実施場所：愛知県知多地区（Jエナジー知多製油所，出光興産愛知製油所）
- (4) 実施内容：Jエナジー知多製油所が，その一部を自家燃料としている副生水素を回収・高純度化し，出光興産愛知製油所へ供給する。これによりJエナジー側で不足する自家燃料を補うため，出光興産側から分解重油やブタンを供給する。これらの実行に必要な連携設備を設置し，水素製造装置の稼働低減や重油の有効活用を図る。



- (5) 新設設備：水素回収装置，水素・燃料供給受入関連設備
パイプライン（敷設距離：約5 km）
- (6) 効果：原燃料消費減による原油処理量の削減 2.4万kl/年
- (7) その他：両社は，2007年から愛知県知多地区にある両社製油所間の連携強化を検討してまいりましたが，本施策の実施により，その取り組みが一層進展することになります。

以上

【参考資料】愛知県にある両社製油所の概要および位置関係図

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ジャパンエナジー	総務人事部(広報担当)	TEL: 03 (5573) 6100
出光興産株式会社	IR・広報室広報課	TEL: 03 (3213) 3115

1. 愛知県にある両社製油所の概要

(1) 株式会社ジャパンエナジー 知多製油所

所在地：愛知県知多市北浜町25番地

所長：松岡 純司

敷地面積：約130万㎡（39万坪）

操業開始時期：1973年10月

原油処理能力：なし（2001年6月に原油処理を休止）

主要生産品目：石油化学製品（パラキシレン・シクロヘキサン）、石油製品

従業員数：120名（2009年3月末）

(2) 出光興産株式会社 愛知製油所

所在地：愛知県知多市南浜町11番地

所長：新村 和利

敷地面積：約207万㎡（63万坪）

操業開始時期：1975年10月

原油処理能力：16万バレル／日

主要生産品目：石油製品、石油化学製品（アクリル酸）

従業員数：327名（2009年3月末）

2. 両製油所の位置関係図

